

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月 8日更新

事務事業名		地域交通安全活動推進協議会運営支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施策	16	交通安全対策の推進			所属課	交通防災課	担当者名	和田 満里奈
	施策の柱	52	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1244
予算科目	会計一般	2	1	3	10042	根拠法令	地域交通安全活動推進委員及び地域交通安全活動推進委員協議会に 関す		
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交通安全活動推進委員が相互に連携して組織的かつ効果的に活動できるよう支援するほか、関係機関・団体との連絡調整を行い、もって事故のない明るい社会づくりに貢献する。</li> <li>・道路交通法に基づき、公安委員会が委嘱した地域交通安全活動推進委員で組織する協議会が発足した。地域における交通安全活動のリーダーとして様々な交通に関する活動を推進することを目的としている。交通事故等の増加により、協議会の行う啓発事業もより活発になっており、市内においては、前照灯点灯運動や飲酒運転撲滅運動等を展開している。</li> <li>※事業終了 (H30年4月1日に熊本北合志警察署に管轄移管。熊本市との整合性を図る為、地域交通安全活動推進委員への負担金支出は平成29年度をもって終了した。)</li> </ul>
【業務の流れ】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会が行う全国交通安全運動に伴う活動、交通安全教育指針に基づく交通安全教育の推進、街頭活動の推進などへの支援</li> <li>・負担金の支出</li> </ul>
【主な予算費目】	・負担金補助及び交付金 (※事業終了)
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:	
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)		4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国交通安全運動に伴う支援活動や街頭啓発活動、年末年始の交通事故防止運動等への支援を行い、本協議会の円滑な運営と活動に寄与することができた。</li> </ul>			
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 協議会主催事業参加回数	回		
→ イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
・地域交通安全活動推進協議会		→ ア: 地域交通安全活動推進委員数	人
		→ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
・目的に沿って活動してもらう		→ ア:	
		→ イ:	
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	31年度実績(決算)	2年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア	回	0	0	0	0				
	イ									
② 対象指標	ア	人	5	6	6	6				
	イ									
③ 成果指標	ア									
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0				
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0			
人件費	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0				
	正規職員従事人数	人	3	4	0	0				
	延べ業務時間	時間	100	120	0	0				
(B) 人件費計	千円	396	473	0	0					
トータルコスト(A)+(B)	千円	396	473	0	0					

事務事業名	地域交通安全活動推進協議会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 事務局である警察署とより緊密かつ積極的な連携を図ることにより、啓発活動など協議会主催事業の目標値達成が期待できる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 委員への働きかけをより一層行うことで、協議会主催事業に参加する委員も増えてくる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 協議会へ支援する事業は、本事業だけである。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の算出基礎 (推進委員1名×20,000円) に基づき支出しており、削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業参加に必要な人件費のみであるため削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした交通安全の推進を図るための支援事業であり、公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公安委員会による地域の交通安全を推進するための事業への支援であり、行政で行なうべきである。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

--	--

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						